

マルチファイルラスタの使用

マルチファイルラスタオブジェクトは多くのタイル状の外部ラスタファイルと同時にリンクします (テクニカルガイド「インポート：マルチファイルラスタのリンクの作成 (Import: Linking to Create a Multifile Raster)」)。マルチファイルラスタは1つのラスタオブジェクトのように見え、他の従来型ラスタオブジェクトと同じように表示したり様々な処理で使用することができます。

1例として、SRTM (Shuttle Radar Topography Mission: スペースシャトル立体地形データ) の複数の高度ファイルへのリンクによって作成されるマルチファイルラスタをとり上げます。このページの図で示すように、グ

レースケールのマルチファイルラスタにコントラストテーブルやカラーパレットを作成・保存して表示を強調することができます。また、ジオツールボックスを使用して、ラスタデータの断面表示を調べることもできます。「地形特性 (Terrain Properties)」処理の傾斜、方位、曲率、起伏陰影などの特性計算において、入力としてマルチファイルラスタを使用することができます。ただし出力データは従来のラスタオブジェクトです。例えば、「ラスタの抜き出し」処理では出力として従来のラスタオブジェクトが抜き出されます。

黄色の領域は SRTM HGT データがありません。

カラーパレットを適用した表示

ラスタの抜き出し

傾斜、方位、陰影、曲率ラスタの作成

標高プロファイルの計算

「ラスタの抜き出し」処理を使って、左図のマルチファイルのリンクラスタから緑色のボックスの範囲を抜き出しました。出力ラスタの形式は従来型のラスタオブジェクトです。

「地形特性」処理を使用して、マルチファイルのリンクラスタから直接計算された起伏陰影ラスタ。

カラーパレットを適用して表示したマルチファイルラスタ。赤の地図格子は各 SRTM タイルの境界線を示しています。ジオツールボックスの定規ツールを使用して複数タイルにまたがって緑の線を描きました。この線に沿って断面が表示されています (右図)。

Profile View			
srtmAustraliaSmall / SRTMaustria			
Profile View			
Value	Distance (meters)		
1009	[Graph showing elevation profile]		
0	100000	200000	300000
Trend Order: 1 Range: 9.00 to 1606.00			
Value:	196.00000	Distance:	0.00000
Trend Value:	543.42701	Semivariance:	0.00000
Trend Residual:	-347.42701	Autocorrelation:	1.00000